

淑徳大学

アーカイブズ・ニュース

NEWSLETTER of SHUKUTOKU UNIVERSITY ARCHIVES

第4号 平成23年(2011)11月30日発行



— 吉田久一氏の講義ノートと自筆原稿 —

吉田久一氏は淑徳女子農芸専門学校（後に淑徳短期大学）、大正大学、日本社会事業大学、日本女子大学、東洋大学で教鞭をとるとともに、淑徳大学を始め非常勤講師として多くの大学に出講し、幾多の人材を育てました。氏は戦後一貫して「社会福祉」と「近代仏教」の二つの学問領域を歴史研究の立場から先導し、その業績は斯界の第一人者として今でも大きな影響を与えています。氏は平成17年（2005）10月、満90歳で他界しましたが、このたび氏の遺品や写真、自筆原稿、講義ノート・メモ、書簡、著作物等が、御奥様の吉田すみ氏より淑徳大学アーカイブズに寄贈されました。

平成 23 年度特別展

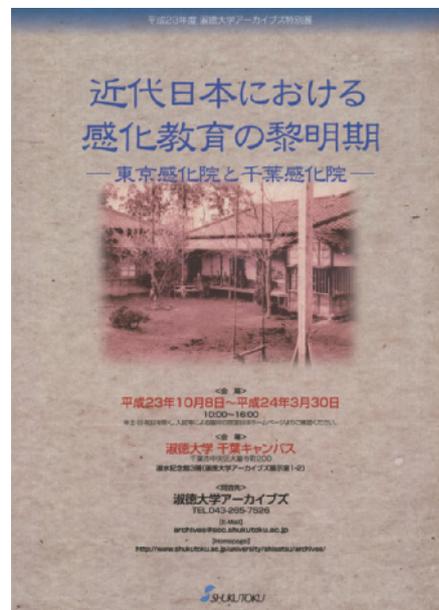
「近代日本における感化教育の黎明期—東京感化院と千葉感化院—」開催

去る 10 月 8 日（土）・9 日（日）の両日、淑徳大学千葉キャンパスで日本社会福祉学会第 59 回秋季大会が開催されました。淑徳大学アーカイブズではこの大会にあわせ、長谷川仏教文化研究所の協力を得て、平成 23 年度特別展「近代日本における感化教育の黎明期—東京感化院と千葉感化院—」を開催しました（会期：2011 年 10 月 8 日～2012 年 3 月 30 日）。

わが国においては、明治 33 年（1900）に感化法が制定され、各府県に感化院の設置が義務づけられる以前は、感化教育は民間の手に委ねられていました。全国で最初に設立された感化院は、明治 16 年（1883）に池上雪枝によって始められた池上感化院（大阪府）とされ、次いで明治 18 年に東京感化院（東京市）が、翌明治 19 年には千葉感化院（千葉県）が設立されました。本展示で取り上げる東京感化院と千葉感化院は、池上感化院に続いて全国で 2 番目・3 番目に設立された施設であり、それぞれの活動は現在も児童養護施設である錦華学院（東京都練馬区）と成田学園（千葉県成田市）に継承されています。本展示は、錦華学院と成田学園のご協力を得、この東京感化院と千葉感化院を取り上げることによって近代日本における感化教育の歴史をたどり、あわせて今後の自立支援のあり方を考える一助になればと企画したものです。

展示は、東京感化院についてはおもに当アーカイブズ所蔵の高瀬真卿関係資料を中心に、また千葉感化院については成田学園所蔵の資料を撮影した写真を中心にそれぞれ構成し、第 1 部「高瀬真卿の生涯と感化院の開設」、第 2 部「渋谷時代の東京感化院」、第 3 部「東京感化院を支えた人々」、第 4 部「東京感化院の感化教育、錦華学院への継承」、第 5 部「千葉感化院より成田山感化院、成田学園へ」の 5 つのコーナーに分かれています。

第 1 部では東京感化院の創設者である高瀬真卿の生涯と、湯島両門町の称仰院の境内に東京感化院を設立する経緯について、第 2 部では明治 26 年（1893）に渋谷の南豊島御料地（現渋谷区広尾）の一部を拝借、移転して以降の東京感化院の様子についてそれぞれ紹介し、第 3 部では東京感化院の職員としてその運営を支えた竹内樸卿らを取り上げています。第 4 部では東京感化院における感化教育の内容





や、大正 12 年に宮内省より北豊島郡上板橋村（現練馬区小竹町）に土地を下賜され、名称も「財団法人錦華学院」と改めた時代の様子を紹介しています。また第 5 部では、千葉県下の仏教各宗寺院が共同して千葉町千葉寺（現千葉市）に設立し、その後成田山の手を経営を移した千葉感化院（成田山感化院）の感化教育の様子について紹介しています。

なお、開室時間や休室日などの詳細は当アーカイブズのホームページでご確認ください。

また、日本社会福祉学会が行われた 10 月 8 日・9 日の両日だけ、特別に淑徳大学附属図書館千葉図書館所蔵のコレクションをもとに「16-20 世紀イギリス救貧法及び社会福祉の歴史貴重書・重要文献コレクション



展」を開催しました。このコレクションは、淑徳大学が平成 6 年度私学助成金採択案件（旧文部省・現文部科学省）として補助を受け購入したもので、英国社会福祉史上もつとも貴重価値の高い書物といえる 1598 年の『エリザベス救貧法』を始めとしてその点数は約 500 点に及びます。今回の展示では、この『エリザベス救貧法』の他、1782 年に成立したいわゆる「ギルバート法」の法案（トーマス・ギルバートが 1775 年に議会上に提出したもの）など 7 点を展示しました。

「吉田久一展—吉田久一の戦中・戦後史—」開催

吉田久一氏は、大正 4 年（1915）9 月 10 日に新潟県中頸城郡板倉村（現上越市板倉区）に生まれました。旧制大正大学に入学すると矢吹慶輝・谷山恵林・長谷川良信らの影響を受け、在学中からセツルメント活動に熱中、昭和 16 年（1941）大学卒業後は大正大学の助手として働く傍ら、マハヤナ学園主事として女子教育にも従事しました。戦後の昭和 22 年（1947）には淑徳女子農芸専門学校（後の淑徳短期大学）助教授に就任し、淑徳大学でも非常勤講師を務めるなど、吉田久一氏は淑徳大学および大乘淑徳学園と深いつながりを持っていました。

吉田氏は平成 17 年（2005）10 月 16 日、90 年という長い生涯を終えましたが、本年 6 月、吉田氏の御奥

様吉田すみ氏から、吉田氏の遺品や写真、自筆原稿、講義ノート・メモ、書簡、著作物等が、淑徳大学アーカイブズに寄贈されました。当アーカイブズでは、「社会福祉」と「近代仏教」の二つの学問領域を、歴史研究の立場から先導し、幾多の人材を育成するとともに、今も斯界の第一人者として大きな影響を与えている吉田氏を顕彰し、その業績を伝えるため、「吉田久一展—吉田久一の戦中・戦後—」を開催しています（会期：2011年10月8日～2012年3月30日）。



内容は、吉田氏が通った新潟県立高田中学校の遠景写真に始まり、大学入学時の家族との記念写真、昭和18年（1943）9月応召直前の恩師との送別会、通信兵として出征した満州間島省延吉や、翌年6月に八重山群島石垣島に移った際の戦時中の写真、また大学在学中のセツルメント活動時の写真やマハヤナ学園主事時代の写真、戦後大学におけるゼミ風景や卒業生を対象としたいわゆる「吉田学校」の写真、また東洋大学の最終講義の講義ノートなどの写真を展示しています。

また、実物資料としては、出征にあたり父親と義兄に宛てた遺書の草稿や、戦後『八重山戦日記』としてまとめられた従軍中の日記やメモ、飯盒、復員名簿といった戦中の資料、終戦までの1年余りを過ごした八重山群島石垣島に戦後慰霊の旅をした時の様子をまとめて教え子が贈ったアルバム、愛用の眼鏡や万年筆、遺著の自筆原稿、日本社会事業大学時代に吉田ゼミに所属していた石津明彦氏が、平成18年（2006）1月30日に行われた「吉田久一先生お別れ会」のために作成し、当日会場に展示されたパネルなどを紹介しています。また、社会主義者・労働運動家の荒畑寒村や小説家武田泰淳、歴史家の家永三郎や大久保利謙といった人々からの手紙やハガキも展示していますが、その中でも戦中に軍務の傍ら行っていた八重山群島の年中行事調査に関して吉田氏がまとめた「まーゆんがなし」という論考を、民俗学者の柳田國男が自ら編纂する『沖縄文化叢説』第2編に収録したいという内容の柳田のハガキは興味深いものといえます。



この他、吉田氏の精力的な研究の成果を示す多数の著作も、手にとってご覧いただけるようになっています。吉田氏自身、研究成果を著作として残すことに大きな意義を認め、亡くなる直前まで執筆活動を続けていました。吉田氏の著作については次頁以下にご紹介します。

なお、本展示は会期が2012年3月30日までとなっていますが、それ以降も装いをあらためて展示を継続していく予定ですのでご期待下さい。

◇吉田久一氏著作目録

- 『東北社会事業と石川翁』（共著 大正大学社会事業研究室 1941年）
『満鮮基督教及天主教社会事業年表』（共著 大正大学社会事業研究室 1947年）
『稿本八重山群島年中行事調査報告』（共著 1947年）
『日本社会事業史講義案』（謄写版 日本社会事業大学 1951年）
『日本社会事業教育の系統』（共著 社会事業研究所 1951年）
『近代社会事業の歴史』（福祉春秋社 1952年）
『社会事業講座 第1分冊』（編著 福祉春秋社 1952年）
『八重山戦日記』（自費出版 福祉春秋社 1953年）
『Cultural exchange in the Field of Social work』（共著 1958年）
『日本近代仏教史研究』（吉川弘文館 1959年）
『日本社会事業の歴史』（勁草書房 1960年）
『社会保障と社会事業』（共編著 医歯薬出版 1960年）
『清澤満之』（吉川弘文館 1961年）
『現代しんらん講座』（共著 普通社 1963年）
『日本近代仏教社会史研究』（吉川弘文館 1964年）
『社会事業の歴史』（共著 誠信書房 1964年）
『現代日本思想大系7 仏教』（編著 筑摩書房 1965年）
『日本社会事業の歴史（改訂版）』（勁草書房 1966年）
『日本仏教史Ⅲ 近世篇近代篇』（共編著 法蔵館 1967年）
『求道の人びと』（共著 春秋社 1969年）
『明治文学全集87 明治宗教文学集第1』（解題・年譜参考文献 筑摩書房 1969年）
『日本の近代社会と仏教』（評論社 1970年）
『昭和社会事業史』（ミネルヴァ書房 1971年）
『近代日本社会事業史文献目録』（共著 日本生命済生会 1971年）
『人物でつづる近代社会事業の歩み』（共著 全国社会福祉協議会 1971年）
『社会事業理論の歴史』（一粒社 1974年）
『社会福祉辞典』（共編著 誠信書房 1974年）
『戦後社会福祉の展開』（編著 ドメス出版 1976年）
『明治文学全集46 新島襄・植村正久・清澤満之・綱島梁川集』（共編著 筑摩書房 1977年）
『現代社会事業史研究』（勁草書房 1979年）
『母を葬りて』（自費出版 1979年）
『日本社会事業の歴史（新版）』（勁草書房 1981年）
『原宿の二十五年』（自費出版 1981年）
『社会福祉の形成と課題—社会事業から社会福祉へ—』（編著 川島書店 1981年）
『社会福祉古典叢書6 渡辺海旭・矢吹慶輝・小沢一・高田慎吾集』（編著 鳳書院 1982年）
『昭和社会事業史への提言』（共編著 ドメス出版 1982年）
『日本貧困史』（川島書店 1984年）
『社会事業教育40年』（自費出版 1984年）
『清澤満之（新装版）』（吉川弘文館 1986年）
『社会福祉の日本的特質』（編著 川島書店 1986年）
『吉田久一著作集1 日本社会福祉思想史』（川島書店 1989年）
『吉田久一著作集3 現代社会事業史研究（改訂増補版）』（川島書店 1990年）
『吉田久一著作集5 日本近代仏教社会史研究 上（改訂増補版）』（川島書店 1991年）
『吉田久一著作集6 日本近代仏教社会史研究 下（改訂増補版）』（川島書店 1991年）

- 『吉田久一著作集4 日本近代仏教史研究』（川島書店 1992年）
『吉田久一著作集2 日本貧困史（改訂版）』（川島書店 1993年）
『吉田久一著作集7 社会福祉・宗教論集／同時代を語る』（川島書店 1993年）
『日本社会事業の歴史（全訂版）』（勁草書房 1994年）
『日本の社会福祉思想』（勁草書房 1994年）
『日本の貧困』（勁草書房 1995年）
『日本社会福祉理論史』（勁草書房 1995年）
『現代仏教思想入門』（編著 筑摩書房 1996年）
『近現代仏教の歴史』（筑摩書房 1998年）
『八重山戦日記』（ニライ社 1999年）
『社会福祉思想史入門』（共著 勁草書房 2000年）
『現代日本と仏教Ⅳ 福祉と仏教一救いと共生のために一』（共編著 平凡社 2000年）
『日本仏教福祉思想史』（共著 法蔵館 2001年）
『社会福祉と日本の宗教思想』（勁草書房 2003年）
『新日本社会事業の歴史』（勁草書房 2005年）

「淑徳大学アーカイブズ史料講読会」発足

—参加者を募集しています—

本年8月、淑徳大学アーカイブズでは、地域との連携を図り、地元の方々との交流を深めるため、「史料講読会」を立ち上げました。現在参加しているのは千葉市内にお住まいで、千葉市立博物館で古文書解読のボランティアをされている方々です。今はアーカイブズが所蔵する東京感化院を設立した高瀬真卿の明治期から大正期の日記を読み進めています。解読した分については、逐次資料集にまとめて刊行していく予定です。今後は当アーカイブズの所蔵史料だけでなく、地域の史料等も取り上げていきたいと思っています。



会は毎月第2・第4金曜日の午前10時から午後3時頃まで、淑水記念館4階会議室で開催しています。どなたでも参加できます。初心者の方も大歓迎ですので、くずし字が読めるようになりたい方や昔のことに興味のある方はぜひ当アーカイブズまでご連絡下さい。その日の都合に合わせて途中から参加いただいても結構です。皆さんで楽しく史料を読んでいきたいと思っております。

淑徳大学アーカイブズ日誌 (2011年4月～2011年10月)

2011年

- 4月1日 淑徳共生苑の文書管理について打ち合わせ (於淑徳共生苑)。
- 4月22日 福田会育児院史研究会出席 (於東京児童福祉研究所九段研究所)。
- 4月24日 日本アーカイブズ学会 2011年度大会参加 (於学習院大学)。
- 4月25日 2011年度第1回淑徳大学アーカイブズ運営委員会開催 (於大乘淑徳学園本部)。
- 4月27日 千葉・関東地域社会福祉史研究会と感化院史研究会の合同例会出席。(於長谷川仏教文化研究所)。
- 4月28日 大学50年史編纂月例会議開催。
- 同日 淑徳共生苑の文書管理と5周年誌について打ち合わせ (於淑徳共生苑)。
- 4月29日 コミュニティ政策学部の八田和子ゼミと矢尾板俊平ゼミが展示見学。
- 5月7日～8日 第39回社会事業史学会大会参加 (於ノートルダム清心女子大学)。
- 5月23日 「長谷川良信の思想と生涯」(金子保教授担当)の受講生展示見学。
- 同日 埼玉県熊谷市の岩田恵子氏より大学の講義要綱等の資料寄贈。
- 5月25日 淑徳共生苑の文書管理と5周年誌について打ち合わせ (於淑徳共生苑)。
- 5月26日 大学50年史編纂月例会議開催。
- 5月30日 淑徳大学アーカイブズのホームページ運用開始。
- 6月3日 全国大学史資料協議会2011年度東日本部会総会参加(於女子美術大学相模原キャンパス)。
- 6月7日 来年3月に閉校する淑徳幼児教育専門学校の事務文書の移管のあり方について打ち合わせ (於淑徳幼児教育専門学校)。
- 6月9日 静岡県駿東郡長泉町の古谷礼子氏より学校案内や入試要項等の資料寄贈。
- 6月10日 千葉・関東地域社会福祉史研究会第1回運営委員会出席 (於大正大学)。
- 同日 『淑徳大学アーカイブズ・ニュース』第3号刊行。
- 6月24日 福田会育児院史研究会出席 (於東京児童福祉研究所九段研究所)。
- 6月28日 東京都品川区の吉田すみ氏より故吉田久一氏関係資料寄贈。
- 6月30日 淑徳共生苑5周年誌について打ち合わせ (於淑徳共生苑)。
- 7月5日 福田会育児院史研究会のメンバーと社会福祉法人福田会を訪問。福田会の建物を改築するため一時的に文書類を預かることになる。
- 7月8日 総合福祉学部金子保教授から学祖長谷川良信の肉声テープ借用。デジタル化作業を行う。
- 7月12日～13日 法人本部の金庫に収納されている貴重文書の目録取り作業。
- 7月14日 全国大学史資料協議会東日本部会第75回研究会参加 (於武蔵野美術大学新宿サテライトキャンパス)。
- 7月15日 社会福祉法人福田会の文書類を淑徳大学アーカイブズに移管。
- 7月16日 第6回千葉・関東地域社会福祉史研究会・総会出席 (於淑徳短期大学)。
- 同日 千葉・関東地域社会福祉史研究会『せんかんニュース』第5号発行。
- 7月19日 大東文化歴史資料館見学。
- 7月21日 成蹊学園史料館の松崎彰氏・市村麻衣氏・露崎幸氏展示室視察のため来室。
- 同日 茨城県水戸市の鹿志村武史氏より淑徳大学吟道部関係資料寄贈。
- 7月25日 埼玉県熊谷市の岩田恵子氏より大乘淑徳学園連合同窓会の会報2点寄贈。
- 8月3日 法人本部から淑徳チェルトナムカレッジの写真ネガ移管。

8月5日	福田会育児院史研究会出席（於東京児童福祉研究所九段研究所）。
8月8日	埼玉育児院日誌研究会出席。
8月16日	淑徳共生苑5周年誌について打ち合わせ（於淑徳共生苑）。
8月25日	第1回淑徳大学アーカイブズ史料講読会開催。7名参加。高瀬真卿日記の解説作業。
8月29日	淑徳共生苑5周年誌第1回編集会議（於淑徳共生苑）。
9月16日	第2回淑徳大学アーカイブズ史料講読会開催。
9月21日	吉田久一展について奥様の吉田すみ氏と打ち合わせ（於吉田氏宅）。
9月27日	淑徳共生苑5周年誌第2回編集会議（於淑徳共生苑）。
9月30日	第3回淑徳大学アーカイブズ史料講読会開催。
同日	福田会育児院史研究会出席（於東京児童福祉研究所九段研究所）。
10月8日	「近代日本における感化教育の黎明期—東京感化院と千葉感化院—」「淑徳大学附属図書館千葉図書館所蔵・16-20世紀イギリス救貧法及び社会福祉の歴史貴重書・重要文献コレクション」展「吉田久一展—吉田久一の戦中・戦後史—」開催。
10月12日	社会福祉法人成田山福祉財団成田学園園長杉浦重剛氏展示見学のため来室。
10月14日	第4回淑徳大学アーカイブズ史料講読会開催。
10月19日	吉田久一氏関係資料寄贈者吉田すみ氏が石津明彦氏と展示見学のため来室。
10月25日	淑徳共生苑5周年誌第3回編集会議（於淑徳共生苑）。
10月27日～28日	第37回全国歴史資料保存利用機関連絡協議会全国（群馬）大会及び研修会参加。
10月28日	第5回淑徳大学アーカイブズ史料講読会開催。
10月29日	千葉・関東地域社会福祉史研究会研究会・運営委員会出席（於淑徳短期大学）。

資料の寄贈・提供のお願い

淑徳大学アーカイブズでは、大学及び大乘淑徳学園に関係する資料を広く収集しています。

- ①大学及び学園が発行した新聞・雑誌・広報誌・年報・報告書等。
- ②学生時代の写真・講義ノート・教科書・手帳・日記・記念品・記章・各種書類等。
- ③学生時代に使用していたもの。
- ④大学及び学園のサークルや研究会の活動を示すもの。

上記以外の物でも結構ですので、お気づきのものがあればお気軽にご連絡下さい。

また、大学及び学園の各部署や学部学科、機関で廃棄の対象となる文書が発生した場合は、大学アーカイブズまでご一報下さい。



淑徳大学

アーカイブズ・ニュース 第4号

NEWSLETTER of SHUKUTOKU UNIVERSITY ARCHIVES

発行日 2011年11月30日

編集・発行 淑徳大学アーカイブズ
〒260-8701

千葉県千葉市中央区大巖寺町200

TEL 043-265-7526（直通）

e-mail archives@soc.shukutoku.ac.jp